

ところざわ 市議会だより

No.218

今回の定例会議は

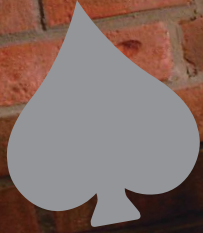
12月

2月

9月

6月

Tokorozawa city council



RUKIA



MASAKAZU



Magician 
Maruza

2月定例会議での 議 案 審 議

【開催期間】 2月18日～3月24日（35日間）

- 【市長提出議案】 令和7年度補正予算 6件
- 令和8年度当初予算 12件
- 条例制定 2件
- 条例改正 17件
- 条例廃止 1件
- 財産の取得 1件
- 和解 1件
- 市道認定 1件
- 人事関係 1件

【請願】 2件

C
O
N
T
E
N
T
S

- 議案等の審議 …… 2～8ページ
- 一般質問 …… 9～13ページ
- ギカイレポート …… 14～15ページ
- 所沢から輝け!! …… 16ページ



令和8年度所沢市一般会計予算（議案第7号）、令和8年度所沢市病院事業会計予算（議案第16号）は、本会議で議案質疑を行った後、2月27日、3月2日から5日までの5日間をかけて予算常任委員会で集中審査を行いました。

新年度 当初予算案 否決

《予算常任委員会の視点》

令和8年度所沢市一般会計予算（議案第7号） ⇒ 挙手少数で否決すべきもの

- 小中学校修学旅行費補助事業
「約3億円規模の事業であり、恒久的な財政負担となることには慎重な検討が必要である」
- ところバス・ところワゴン高齢者無料化事業（高齢者活動助成）
「市民からは運行数の増便やルートの改善などに強い要望があるため、そのニーズに応えるのが先ではないか」
- 所沢市役所旧庁舎等跡地利活用検討事業
「広く市民の声に丁寧に耳を傾けながら、十分な議論を重ねることが重要である」

令和8年度所沢市病院事業会計予算（議案第16号） ⇒ 挙手少数で否決すべきもの

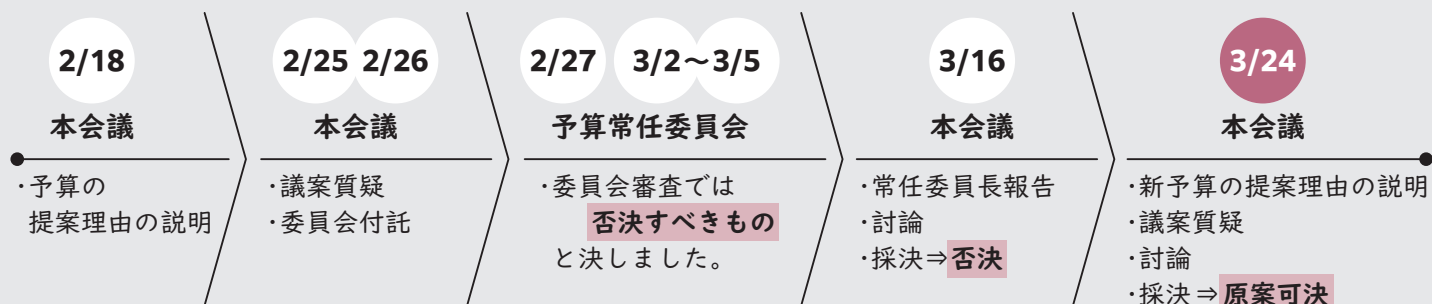
「当初約48億円だった事業費が総額110億円と大幅に増大する予算が示された。これを借り入れた場合、将来世代に大きな負担を強いるものと言わざるを得ない。市民医療の確保を前提としつつ、財政規律との均衡を図るべきだ」

3月16日の本会議で、採決の結果、議案第7号、議案第16号ともに**否決**となりました。

その後、議会の結果を踏まえ、小中学校修学旅行費補助事業、ところバス・ところワゴン高齢者無料化事業（高齢者活動助成）、所沢市役所旧庁舎等跡地利活用検討事業に伴う予算を計上しない**令和8年度所沢市一般会計予算（議案第42号）**、市民医療センター再整備の修正に伴い減額した**令和8年度所沢市病院事業会計予算（議案第43号）**が市長から提出され、ともに**原案可決**となりました。

予算可決 までの 流れ

令和8年度所沢市 一般会計予算・病院事業会計予算





反対

の聲が上がった

おもな

4 事業を **PICK UP**



01 小中学校修学旅行費補助事業

議案第7号 令和8年度所沢市一般会計予算

保護者が負担する修学旅行費を補助することにより、子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。

対象 見込数 約5,400人

補助上限額 (生徒一人あたり)

市立小学校6年生の児童、市立中学校2年生又は3年生の生徒が在籍している世帯の保護者が負担する修学旅行費

小学生
3万5,000円



中学生
7万5,000円



ギカイの視点

問

修学旅行費の補助だが、保護者・学校・PTA等からどの程度の要望があったのか。

答

教育委員会に対して修学旅行費の補助の要望等はなかったが、物価高騰などもあり、修学旅行費を含む教育費に対する保護者の負担軽減を望む声は日頃からいただいている。

問

最も経済的負担の大きいものを解消するというのであれば、修学旅行費に全額充てるのではなく、新入学時の用品に充てるというような議論はなかったのか。

答

義務教育無償化という理念を実現するために、限られた予算で、どこに充てるべきなのか教育委員会の中で考え、学校の外での経験や学び等の教育的効果から、修学旅行費の補助に充てるべきではないかという考えに至った。

3/16 討論



立憲リベラルの会

末吉議員

反対



行き先や内容により補助額に学校ごとの差がつくのは公平性としてどうなのか。補助額を一定にして、不足分のみ集金する形態が公平であると考え。また、県立の特別支援学校に通っている生徒や医療的ケア児のサポートなどは全く対象にしている点が残念に感じた。生徒にとって生涯に一度の思い出というのなら、市民であるこうした生徒の補助もするべきであると考え、反対する。

至誠自民クラブ

大石議員

反対



どうして総合計画に記載されていない修学旅行無料化が先に実施され、総合計画に記載されているこどもの居場所づくりが後回しにされるのか。既に約10%の生活困窮世帯の方々に対して修学旅行代金が援助されている。対象者数が物価高により増えるのであれば理解できるが、限りある財源であるため、福祉も含め本当に困窮されている方々から援助すべきであると考え、反対する。

物価高騰が家計を圧迫する中で、全てのこどもたちに等しく豊かな体験を保障する、義務教育の無償化に向けた取組の一步である。また、中間層や共働き世帯が本市に住む呼び水としての意味もある。子育て現役世代の定住が促進されれば納税も増加する。行く行くは上下水道などのインフラ整備更新にもつながり、全市民にとってのメリットにもつながるため、賛成する。

立憲民主党・
れいわ新選組

賛成

長岡議員



02

ところバス・ところワゴン高齢者無料化事業
(高齢者活動助成)



議案第7号

令和8年度所沢市一般会計予算

ところバス・ところワゴンは、高齢の市民にとって重要な移動手段となっていることから、市内在住の満70歳以上の方の運賃を無料化することで活動の機会を広げ、高齢者の健康維持・増進を図る。



ギカイの視点

問

ところバス・ところワゴンの利用者が、一番課題に思っているのが、便数やルートである。今回の無償化に関しても、実施されればとてもうれしいという意見はいただいているが、無償化によって満足度が上がると考えているのか。

答

実施してみなければ分からないが、無料化の実施に伴って一定程度の利用が見込まれることから、満足度の上昇にはつながるのではないかと考えている。

3/16 討論

立憲リベラルの会

末吉議員

反対

公共交通機関の厳しい状況は続いており、市民の貴重な足であるバス・タクシーなどが撤退・縮小されてから後悔しても遅い。しっかりと事業者と協議し、共存していくことが必須である。また、本当に自力で動くことが厳しくなる年齢を見極め、年齢設定していくことが重要と考え、反対する。

至誠自民クラブ

大石議員

反対

無料化により利用する方が増えた場合、地域公共交通を担っているタクシーやバスなどの民間事業者の経営に影響がある。また、市民は無料化よりも利便性の向上を求めている。無料化するための予算は利便性向上のために活用すべきと考え、反対する。

将来的に交通弱者の外出機会を確保し、健康寿命の延伸に寄与することが見込まれる。今後、ルートの改善や市民の要望に応え、さらなる利便性向上に向けていただくことを望み、賛成する。

立憲民主党・
れいわ新選組

賛成

長岡議員

03

所沢市役所旧庁舎等跡地
利活用検討事業



議案第7号

令和8年度所沢市一般会計予算

市の中心部に位置している所沢市役所旧庁舎と旧所沢市文化会館跡地に関し、官民連携による地域活性化に寄与する利活用の方法について調査、検討を行う。

ギカイの視点

問

所沢地区には避難場所がないので、芝生の公園や体育館をつくっていただきたいという要望も出ているが、壊すと同時にこういうものを建てようという考えをすでに持っているのか。

答

体育館や防災関係の御要望があることは十分承知しており、令和7年度に実施したサウンディング型市場調査でも、そういうものがあることを説明した上で進めてきた。今後も、そういった皆さんの声も聞きながら、合意形成を図っていきたい。

3/16 討論

至誠自民クラブ

大石議員

反対

公園の整備を前提にして、一部を民間に利用させるのなら理解できるが、現状では民間による活用ありきで話が進められているのではないかと危惧している。解体をして広場として暫定利用しながら跡地活用を検討する新しいまちづくりの手法を取り入れることを求め、反対する。

04 市民医療センター再整備事業



議案第16号
令和8年度所沢市病院事業会計予算

老朽化が進んでいる現在の市民医療センターを運営しながら現在地での建替えを行う。

令和13年度までの6か年の継続事業として、新病院の建設と現病院の解体並びに駐車場等の外構工事を行う。



外観イメージ

ギカイの視点

問

計画を立てた際と社会状況が変わっていると思うが、小児の急患センターにするなど、もう少しダウンサイジング的なことも見据えてはと思うが、改めてどう考えているのか。

答

現在、建設資材の高騰や建設作業員の人員不足、働き方改革により、建設費が大幅に上昇しているが、基本計画に掲載の医療機能については、いずれも市民医療センターに求められており、必要なものと捉えている。

3/16 討論



立憲リベラルの会

末吉議員



反対

新病院の建物は近隣の住宅の距離が近いからか、窓を非常に小さなものにするなど患者への配慮がなく、無理をあちこちに感じる提案である。民間病院の動向も変わってきており、医療センターが堅持すべき機能は何かを精査すべき時期である。存在意義と老朽化については十分理解しているが、市が中核市を目指し、社会状況が刻々と変わる中で、膨らみ続ける建設費用に対して、市民の財政への不安感があるのも事実である。いま一度立ち止まって見直すことを願って、反対する。

さきがけ

島田議員



反対

現状として、診療は大きく分けて内科と小児科しか行っておらず、経営強化プランの目標値を下回っている。また、病床利用率は約7割未満にとどまっているということを確認すべきだ。公立病院は赤字が当たり前という姿勢ではなく、無駄をなくし、経営強化プランを進めると同時に、真に市民からのニーズに応えられる病院であるべきである。当初の事業から倍以上に膨れ上がった市民医療センター再整備計画を根本的に見直す必要があると判断し、反対する。

物価高騰、人手不足、働き方改革などが重なり、医療機関は厳しい経営環境に置かれ、地域医療の存続そのものが危機に直面している。こうした状況下で地域医療を安定的に維持するためには、公立病院の存在が不可欠である。また、市の財政力からしても、将来的見通しは可能であると考えている。地域に住む人々が安心して暮らすためには、医療の確保は自治体の最も重要な責務の一つであることから、賛成する。

日本共産党
所沢市議団

賛成

花岡議員



医療介護総合確保促進法に基づく埼玉県計画では、西部医療圏の病床は不足することが指摘されており、少子超高齢化が進展する中、ますます市民病院の役割が増えることが予測される。また、レディースクリニックや健康診断を実施する近隣の民間病院に対しては、より低価格でできるという点ですみ分けができると考える。物価高騰を十分に配慮し、あらゆる角度からコスト削減を図る実施設計をし、早期に議会へ成果を示すことを求めた上で、賛成する。

立憲民主党・
れいわ新選組

賛成

長岡議員



3/24 本会議

新しく市長から提出された

議案第42号 議案第43号 に対する 討論



立憲リベラルの会
石本議員

賛成



日本共産党所沢市議団
花岡議員

反対



公明党
川辺議員

賛成

議案第42号 令和8年度所沢市一般会計予算

予算計上せず 小中学校修学旅行費補助事業

一言でいうと議案提案までの事業の設計が甘過ぎる。物価高の今日、一定の金額は補助があってもよいとは思っているが、県立の特別支援学校に通う子どもたちや医療的ケア児を対象にしていないことは全く理解できず、悲しくなった。対象にされない子どもたち、そしてその家族に、当初提案された小中学校修学旅行費補助事業は本当にすばらしいと胸を張って言えるのか。

義務教育の無償化の理念をより実質的に実現する施策である。物価高騰が続く中、修学旅行費を市が負担することにより、保護者の経済的負担の軽減、そして集金業務に追われる教師の負担軽減にもつながる。さらに、経済状況に左右されることなく、全ての児童生徒が学校生活を平等に、不安なく送ることができる点は極めて大きな意義があるため、反対する。

将来にわたる財政負担、制度設計の妥当性、事業の優先順位という観点から、十分な整理と説明が尽くされているとは言い難いと判断し、議案第7号には賛成できなかった。追加議案では、当初予算で大きな懸念が示されていた事業や費用が削除されたことで、当面必要な予算執行部分と、慎重な再検討を要する部分とが切り分けられ、一定の整理が図られたものと受け止め、賛成する。

予算計上せず ところバス・ところワゴン高齢者無料化事業

所沢市の地域公共交通について、今求められている最優先の政策ではない。

免許返納者が今後増えていく中、高齢者の外出機会を増やし、フレイル予防、介護予防にもつながるものであるため、反対する。

議案第43号 令和8年度所沢市病院事業会計予算

予算計上せず 市民医療センター再整備事業

当初の見積りに対し、短い時間であまりにかけ離れた金額に急騰したことに驚いた。生産コストが高くなり過ぎたトマトのようだ。どんなにおいしくても値段が高過ぎるトマトにどれだけの需要があるのかと、改めて疑問を持つため、賛成する。

今後、改めて再整備計画を進める場合、資材、人件費高騰や企業債の借入れの際は高金利の貸付けになる可能性がある。医療の確保は自治体の最も重要な責務の一つだ。公立病院がその役割を果たし続けられるよう支援することは、地域の未来を守ることに直結するため、現時点で再整備計画を盛り込むことを求め、反対する。

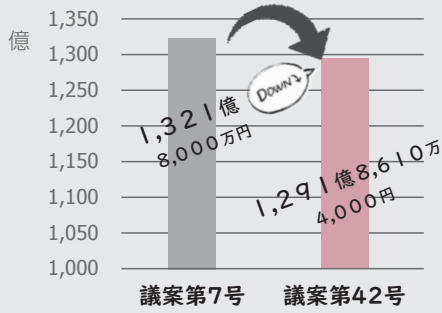
市民医療センター再整備の予算が削除されたが、その背景にあるのは、約110億円の継続費を議会が議決責任を果たすに足るだけの積算根拠、財政見通し、機能と規模の妥当性、他病院との役割分担、市民サービスへの影響比較といった説明が十分でなかったという点である。今後再提案する際には、より丁寧な再整備計画が必要であり、どのような機能をどのような規模で、なぜその仕様にしようとするのか、そして、その結果として再整備費をどのように積み上げたのかを議会と市民に対して具体的に示すことを強く求め、賛成する。



討論の様子は
こちら

Point 1 令和8年度所沢市一般会計予算 議案第7号と議案第42号のおもな **変更点**

↓ 29億9,389万6,000円



01 「小中学校修学旅行費補助事業」

△ 3億667万1千円

02 「ところバス・ところワゴン高齢者無料化事業」
(高齢者活動助成)

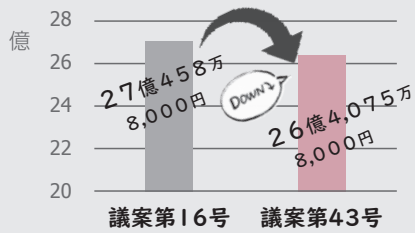
△ 12万7千円

03 「所沢市役所旧庁舎等跡地利活用検討事業」

△ 1,353万3千円

Point 2 令和8年度所沢市病院事業会計予算 議案第16号と議案第43号の **変更点**

↓ 6,383万円



04 「市民医療センター再整備事業」

令和8年度の事業費

△ 6,383万円

令和9年度～令和13年度の継続費

△ 109億7,290万7千円

継続費とは
大規模な建設事業など、事業の実施が2会計年度(2か年)以上に渡ることが確実な場合に、全体の事業費と、年度ごとの事業費をあらかじめ予算で定めたもの。

令和8年2月定例会議 審議結果

市長提出議案(42件)

■ 賛否の分かれた議案等 □ については、議員別賛否一覧をご覧ください。

議案番号	議 案 件 名	付託委員会	結 果	
議案第2号	令和7年度所沢市一般会計補正予算(第10号)	予 算	原案可決	
議案第3号	令和7年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計補正予算(第2号)			
議案第4号	令和7年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計補正予算(第3号)			
議案第5号	令和7年度所沢市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)			
議案第6号	令和7年度所沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)			
議案第7号	令和8年度所沢市一般会計予算			否 決
議案第8号	令和8年度所沢市交通災害共済特別会計予算		原案可決	
議案第9号	令和8年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計予算			
議案第10号	令和8年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計予算			
議案第11号	令和8年度所沢市国民健康保険特別会計予算			
議案第12号	令和8年度所沢市介護保険特別会計予算			
議案第13号	令和8年度所沢市後期高齢者医療特別会計予算			
議案第14号	令和8年度所沢市水道事業会計予算			
議案第15号	令和8年度所沢市下水道事業会計予算			
議案第16号	令和8年度所沢市病院事業会計予算			否 決
議案第17号	所沢市保健所設計及び建設事業者選定委員会条例制定について			健康福祉
議案第18号	所沢市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について			
議案第19号	所沢市議会の議員及び所沢市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務経済		
議案第20号	所沢市産業振興ビジョン推進会議条例の一部を改正する条例制定について			
議案第21号	所沢市行政手続条例の一部を改正する条例制定について			
議案第22号	所沢市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について			
議案第23号	所沢市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について			
議案第24号	所沢市一般職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について			
議案第25号	所沢市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について			

議案番号	議 案 件 名	付託委員会	結 果
議案第 2 6 号	所沢市一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務経済	原案可決
議案第 2 7 号	所沢市税条例の一部を改正する条例制定について		
議案第 2 8 号	所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	健康福祉	
議案第 2 9 号	所沢市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		
議案第 3 0 号	所沢市重度心身障害児等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務経済	
議案第 3 1 号	所沢市観光情報・物産館条例の一部を改正する条例制定について		
議案第 3 2 号	所沢市建築・開発関係手数料条例の一部を改正する条例制定について	建設環境	
議案第 3 3 号	所沢市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について		
議案第 3 4 号	所沢市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務経済	
議案第 3 5 号	所沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について		
議案第 3 6 号	所沢市生涯学習推進センター運営協議会条例を廃止する条例制定について	市民文教	
議案第 3 7 号	消防ポンプ自動車の取得について	総務経済	可 決
議案第 3 8 号	工期遅延による損害に係る和解について	市民文教	
議案第 3 9 号	市道路線の認定について	建設環境	
議案第 4 0 号	令和 7 年度所沢市一般会計補正予算（第 1 号）	-	原案可決
議案第 4 1 号	公平委員会委員選任の同意を求めることについて		同意する
議案第 4 2 号	令和 8 年度所沢市一般会計予算		原案可決
議案第 4 3 号	令和 8 年度所沢市病院事業会計予算		

請願(2件)

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第 1 号	令和 7 年 9 月議会における 9 月 1 6 日付の斉藤かおり議員発言後の議事進行に関する所沢市議会の姿勢と対応について市議会としての見解を求めます。	議会運営	不採択
請願第 2 号	令和 7 年 9 月議会における 9 月 1 6 日付けの斉藤かおり議員の 아프리카 諸国に関する発言に問題はなかったのでしょうか。市議会としての見解を求めます。	議会運営	不採択

議員別賛否一覧 議案に対する各議員の賛否を表示しています。

賛成：○ 反対：×

	自由民主党・ 維新・参政・ 無所属の会				公明党				至誠自民クラブ				日本共産党 所沢市議団				市民クラブ 未来		さきがけ		立憲リベラル の会	立憲民主党・ れいわ新選組	赤川												
	斉藤かおり	神戸鉄郎	佐野允彦	大庭祥照	前田浩昭	入沢豊	石原昂	植竹成年	大久保竜一	川辺浩直	亀山恭子	山口浩美	福原浩昭	谷口雅典	大石健一	大館隆行	秋田孝	斎藤由紀	小林澄子	中井めぐみ	花岡健太	矢作いづみ	松本明信	粕谷不二夫	中 毅志	青木 利幸	島田 一隆	長谷川礼奈	荻野 泰男	石本 亮三	末吉美帆子	長岡 恵子	赤川 洋二		
議案第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 6 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 6 号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 8 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 7 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 8 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 9 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 3 0 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 3 6 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4 3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 1 号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 2 号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お詫びと訂正

ところざわ市議会だより第217号(令和8年2月15日発行)6ページの議員別賛否一覧のうち請願第2号・第3号について神戸議員は「×(反対)」と記載しましたが、正しくは「欠席」となります。お詫びして訂正します。

2月定例会議での

一般質問



議員が自身の政策提案等も含めて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきつとあります。

※各議員の質問をダイジェスト版でお知らせします。すべての質問項目および動画は、市議会ホームページで公開しています。



↑動画はコチラ

「ブロンコス通り」をつくり
さいたまブロンコスと商店街に
さらなる盛り上げを



クラブ
市民 未来
利幸
青木

Q 埼玉県はミニバスを行う人口が日本一とされ、実際に市民体育館で開催された市をホームタウンとするさいたまブロンコスの試合は4,000人近くが観戦し、大変な盛り上がりを見せている。新所沢駅東口商店街の方々も、試合のある日はユニフォームを着るなどしてさいたまブロンコスを応援している。そこで、さいたまブロンコスを盛り上げるためにも、またこの商店街を盛り上げるためにも、新所沢駅東口から市民体育館

までの道路を「ブロンコス通り」と名付けてはどうか。
A さいたまブロンコスは、来シーズン新たに設置されるB・LEAGUE ONEへの参加が決定しており、さらなる活躍が期待される。「ブロンコス通り」という愛称をつけた場合、チームと地域との一体感がさらに深まるものと思われる。一方で想定される課題もあることから、今後、機運の高まりやチームの御意向等を注視していく。

精神疾患への理解促進のため
こころのサポーターの養成を



党
公明
久保
大

Q 国は、精神疾患への理解促進を目的としたこころのサポーター養成研修を推進しているが、現在のホームページ等にはこころのサポーター養成研修の記載がない。本市としても、ぜひ取り組みむべきと考えるが、導入や周知を行う考えはあるのか。

A 国では、身近な人の心の不調に気づき、身近な立場で支援を行う人材として、こころのサポーターを計画的に養成し、令和11年度末ま

で100万人とすることを目標としている。こうした国の動きを踏まえ、本市でも、令和8年度から計画期間とする第3次所沢市保健医療計画で、こころのサポーター養成研修の実施を掲げ、修了者数の目標を設定することとしている。心の健康に対する市民の理解を促し、必要な方に対して適切な支援をつなげていくため、計画的にこころのサポーターを養成していきたいと考えている。

新所沢駅周辺での
客引き行為への対策を



新・維新
自由民主党
参政・無所属の会
石原 昂

Q 新所沢パルコが閉店してから、新所沢駅周辺が早い時間帯から暗くなることも相まって、夜間帰宅中の近隣市民から客引き行為が不快である、怖いなどの声が寄せられている。こうしたことはまちの風紀の乱れにつながる懸念があり、早期に対処することが必要と考える。そこで、新所沢駅東口エリアと西口エリアを客引き行為等禁止に関する条例の禁止地区に加えていただくなど、対策を強化して

いたいただきたいが、見解を伺う。
A 新所沢駅周辺では、これまでの調査で、居酒屋等の執拗な客引き行為は見受けられず、県の条例で対応できるものとして、今のところ、本市の条例に基づく禁止地区に指定する予定はない。しかし、市民の方からの相談も寄せられていることから、今後も引き続き実態を確認していくとともに、所沢警察署と情報共有し、警察によるパトロール強化等をお願いしていく。

福祉の観点から
フードパントリーの
運営継続への支援を



党
公明
植竹 成年

Q フードパントリーの活動は、生活困窮世帯に対する支援の意味合いが強いように感じるが、これらのボランティア団体の活動は、活動を継続する上での費用負担などの課題に直面している。そこで、今後は福祉の観点から、活動を継続するための支援を検討すべきではないかと思うが、見解を伺う。

A 生活に困窮している世帯に対しては、相談者一人一人の生活状況を丁寧に伺い、そこで見えてきた課題の解決に

向けて継続的な支援を行う必要があると考えている。フードパントリー等の運営団体に限らず、特定非営利活動法人や市民団体には、財政面をはじめ、様々な課題があることは承知している。こうした団体に対し、本市では、市民活動支援センターだけではなく、所沢市社会福祉協議会を通じて様々な支援を行っている。今後もそれぞれの団体の実情を踏まえ、丁寧に寄り添いながら、支援に努めていきたいと考えている。

スマートボールの導入の検討を



さきがけ 長谷川礼奈

スマートボールは、これまでの街灯と違い、5G基地局の設置スペース、デジタルサイネージ、環境センサー、防犯カメラを一基に統合することで、インフラ自体が収益とデータを生み出す存在へと進化する。場所貸しの賃料収入だけで、一基当たり年間数十万円の収益が見込め、サイネージ広告による上積みも可能である。そこで、広告価値が高く、通信ニーズも集中する所沢駅周辺や航空記念公園周辺などをスマート化重点整備地区に指定

し、民間資金で設置・運営を行うPFI手法などを活用して、市側の持ち出しを抑えた試験導入を行う考えはないか。

スマートボールは、設置の初期費用が高額であることに加え、毎年の維持管理の費用負担もあることから、費用対効果を慎重に見極める必要がある。今後は、導入している他の自治体の動向や、官民連携によるPFI手法、国の補助金の活用なども踏まえて研究していく。

市民葬制度の導入を



公明 党 川辺 浩直

葬儀の費用に関するトラブルをめぐっては、不満に思っても消費生活センターへ声に出せないまま泣き寝入りというのもあると思う。川越市では、市民聖苑葬儀制度という名で、市の葬儀として44万円を上限に決めた具体的なプランで葬儀を行っている。新座市、朝霞市、東村山市などでは、市民葬制度をつくり、主な葬儀料金の揭示と、市指定の葬儀社を決めている。多

死社会に向けての準備として、民間資金で設置・運営を行うPFI手法などを活用して、市側の持ち出しを抑えた試験導入を行う考えはないか。

て、本市でも市民葬制度をつくるべきと思うが、見解を伺う。市民葬制度が適切な葬儀費用や信頼できる事業者による安心感などを市民の方に提供できる仕組みとして、その必要性を改めて認識しているところである。コロナ禍を経て、葬儀の形も変化している状況ではあるが、市民が安心できる葬祭制度を、他市の取組なども参考にしながら検討していく。

ごみ収集にデジタル技術を導入しては



自民 至誠 秋田 孝

神奈川県平塚市では、ごみ収集車にタブレット端末を搭載し、車両の位置情報、収集軌跡、収集履歴をリアルタイムで把握することで、システムに基づく車両間の情報共有、応援体制が強化され、収集効率の向上や、収集漏れの防止に加え、市民からの不法投棄の連絡についても、より迅速な対応が可能になった。県内では、春日部市が効率化を図るため、現在実証実験中とのことであるが、デジ

タル技術の導入について市長の見解を伺う。

全国の自治体それぞれ課題に応じてデジタル技術を導入していることは承知している。ごみの収集業務は市民の生活に密着していることから、本市の課題を見据え、市民サービスの向上と作業の効率化、経費削減などの効果も踏まえつつ、その解決に資するよう、デジタル技術の導入を進めてまいりたい。

ごども支援のニーズに客観的な評価の取り入れを



公明 党 福原 浩昭

現在の市の調査では、ごども支援のニーズは十分に把握されていると思うが、どうしても生活の困難層や周辺層の規模、支援を必要とする母集団の把握には限界があると言わざるを得ない。川越市の調査では、低所得や家計の逼迫、ごどもの体験や所有物の欠如といった観点から生活困難度を分類している。本市でも、支援の到達度や成果を客観的に評価することで政策立案の仕組みを構築すべきと考

えるが、市長の見解を伺う。全てのこどもが尊重され、こども一人一人が幸せを感じるまちを目指すためには、こどもやその家庭が必要としている支援を把握し、着実に届けていくことが必要であると考える。こども計画の策定に当たっては、ごどもや家庭にアンケート聴取を実施している。次期計画を策定する際のアンケートでは、他自治体の事例なども参考にし、より効果的なものとなるよう、指示していく。

民間事業者を利用した水泳授業の実施の検討を



公明 党 山口 美

県内では、坂戸市が令和6年度より小・中学校全ての水泳授業を民間施設で実施し、天候に左右されず、専門的な指導や経費削減といった効果が報告されている。他の市でも民間プールの活用は、少数の学校から試験的な導入を進めているところもある。民間利用については慎重な姿勢であるのは十分理解しているが、現状を鑑みると、段階的にも民間プールを利用して水泳授業を実施しては

どうかと考えるが、見解を伺う。

水泳授業は水に慣れ親しみ、安全に活動する力をつける観点からも大変重要なものと捉えている。今後の水泳授業をどのように進めていくかは、教育委員会としても大きな課題の一つであると認識しており、民間事業者の活用も含めて、本市にとってよりよい形を検討していく。

市内北部にも期日前投票所の設置を



立憲 べらの会 石本 亮三

令和8年2月の衆議院議員総選挙では、富岡小学校体育館が最も投票率が低かった。市内の東・西・南部には期日前投票所が設置されたが、北部には設置されていない。富岡地区は高齢化率が高く、ところパスの北路線の廃止によって、最も近い期日前投票所である市役所に直接行く手段がない。なぜ、市内の北部には期日前投票所を設置しないのか、その理由と今後の方針を伺う。

令和7年7月の参議院議員通常選挙から、新たに2か所の期日前投票所を設置した。選定理由は、既存の期日前投票所である市役所と所沢駅東口が市の中央部に位置しており、本市が東西に長い形状であることなどを勘案し、柳瀬と三ヶ島のまちづくりセンターに設置した。期日前投票所の今後の方針は、令和9年の地方選挙の結果なども踏まえて考えていく。

所沢サン・アビリティーズにWiFi環境と通信カラオケの導入を



新・所属の会
自由民主党
参政・無
前田 浩昭

Q 通信カラオケは人気があり、様々なメリットがある。そこで、所沢サン・アビリティーズの利用者の交流促進やレクリエーションの充実の観点から、WiFi環境と通信カラオケの導入を検討するべきと考えるが、市長の見解を伺う。

A 現在、WiFi環境の整備により情報取得や交流手段が多様化している。また、通信カラオケシステムも、レクリエーション活動や利用者同士の交流を深める有効な手段であると認識している。一方、設備導入には、施設の利用状況やニーズ、導入や維持管理に関する経費、運用方法等を整理する必要がある。所沢サン・アビリティーズのWiFi環境や通信カラオケシステムの導入は、利用者の御意見を丁寧に向いながら、施設の目的や利用状況を踏まえ、見極めていきたいと考えている。

交通弱者向けの交通安全講習などの充実を



会
立憲リベラルの
末吉美帆

Q 本市が行っている交通安全教室は、児童生徒などのことも中心に行われていることが多いと感じるが、高齢者が移動に際して自転車を利用するケースが増えている。また、シニアカーなども時折見かけるようになってきた。そこで、体力がなく自転車やシニアカーを利用せざるを得ない高齢者、交通弱者向けの交通安全の講習、ルール周知などを充実させてほしいと思うが、

A 交通安全講習は、老人福祉センターや自治会、まちづくり協議会などから依頼をいただき、参加者に応じた内容で実施している。また、交通安全ルールは、市の広報や毎月10日の商業施設での安全啓発活動などで、広く周知しているが、シニアカーを利用する高齢者や交通弱者への啓発も必要だと考えられるので、様々な機会を捉えて周知していく。

死後事務手続きの所沢モデルの構築を



民
至誠
クラブ
谷口 雅典

Q 千葉県松戸市の死後事務サービス支援制度では、契約段階で金銭的に余裕のない方でも利用できるよう、少額短期の保険をかけることで、最終的に亡くなった後の事務サービスの支援を受けることができる。年齢要件はなく、身寄りのない方が自分の終活が心配で、死後事務サービスの利用を検討する際に、死後事務サービス提供者を選ぶ参考にしてもらうことで利用促進を図ることを目的として、松戸市は死後事務手続きを市が責任を持って一つの仕組みを作っているが、本市ができる独自のやり方、いわゆる所沢モデルの構築を進めてはどうかと考えるが、市長の見解を伺う。

A 身寄りのない高齢者の支援は、本市でも、高齢社会の課題の一つであると認識している。引き続き国の動向などを注視して情報収集などに努めてまいりたい。

国際化に対応する専門部署の設置を



ラ
市民ク
未
松本 明信

Q 増え続ける外国人に関心が高まる中、多文化共生社会を目指し、市政の多言語化、外国人の採用などを検討すべきかと考える。多文化共生社会とは、国籍や文化の異なる人々が共に生き、住みやすいまちを目指すものである。本市に住む外国人は今後も増え続けることから、国際化に対応する専門の担当部署を設置すべきであると思うが、市長の見解を伺う。

A 現在本市では、市役所のどの窓口でも、外国人の方が気兼ねなく相談することができるよう、翻訳機や他の部署の職員の協力も得ながら対応に努めている。また、国際交流の業務を行っている企画総務課が多文化共生の施策全般を担っており、国や県の国際担当の情報を庁内関係各課へ速やかに共有し調整を進めている。現時点では独立した担当部署の設置は予定していないが、引き続き社会情勢の変化などを見定めてまいりたい。

上下水道のDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を



新・所属の会
自由民主党
参政・無
入 豊

Q 近年の上下水道事業は施設の老朽化や事業の担い手不足などの大きな課題がある。施設の点検頻度や点検方法の強化・充実、メンテナンス効率の向上をはじめ、経営の効率化を推進し、さらには大規模災害時に備えた施設の強靱化など、基盤強化を進めた持続可能な水道・下水道システムの構築が求められている。こうした中、将来にわたりサービスを提供し続けていくために、データや情報、知識などの資源を、デジタル技術を活用し、業務や働き方改革をする取組、上下水道DXを進めていくことが今後の基盤強化に有用であると考えられる。そこで管路劣化予測などの上下水道のDXを導入していくべきだと思うが、見解を伺う。

A AIを活用した管路劣化予測は、経営の効率化に資するものと考えられる。本市でも、他自治体の先行事例を参考としながら、こうした技術について積極的な検討を行っていききたいと考えている。

地域生活支援事業への補助金の改正を



産
日共
所共
花岡 健太

Q 地域生活支援事業は市町村の責任で行う事業である。そもそも地域活動支援センターの補助金だけでは継続が難しく、介護給付や訓練等給付を並行して行うことを前提としていること自体が問題だ。神奈川県横須賀市は、障害福祉サービスの報酬改定や最低賃金の上昇に併せて、要綱の改正を行い、賃上げに対応している。本市でも、最低賃金、物価高騰を加味した改正を行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。

A 地域活動支援センターは、障害のある方が地域で安心して生活していく上で、日中活動や交流の場として重要な役割を担っている。本市では、適正な人員配置、事業内容の精査や見直しを行うことで、適切な補助金の交付に努めている。最低賃金の上昇や物価高騰などにより、事業の運営を取り巻く環境が変化していることは承知しているが、引き続き事業が安定的に継続できるよう、必要な支援の在り方について検討していく。



中核市を目指す自治体として職員が安心して働き続けられる体制を



産党 議員 市議 団員 共 市 中 井 日本 所 沢 中

Q 中核市になると、より高度な行政サービスを担うため、専門性や継続性の観点から、正規職員を中心とした体制の確保が重要になるのではないかと。しかし、本市では多くの会計年度任用職員によって市民サービスが支えられている現状がある。中核市を目指す自治体として、職員が安心して働き続けられる体制をどのように確保していくのか。現業職退職者不補充を含め、定員管理計画について見直しを

検討する考えはあるのか、市長の見解を伺う。

A 本市では、現業職退職者不補充方針を平成12年度から継続しており、令和10年度までを計画期間とする「第3次所沢市定員管理計画」でも、この方針を継続しているところである。今後、中核市への移行に当たっては新たに担う行政サービスを実施するために必要となる職員体制を確保し、働きやすい環境の整備に取り組んでいく。

西武グループと連携した魅力あるふるさと納税返礼品を



維新の 会 議員 所 属 無 党 員 新 野 俊 郎 自由 民主 党 参 政 神 戸

Q 東京都東村山市では、西武鉄道と連携し、駅係員の仕事体験や電車の運転体験など、鉄道会社ならではの資源を生かした体験型の返礼品を開始した。西武鉄道の本社は所沢市であることから、隣の自治体でこうした取組が始まったことは本市としても大変示唆に富む事例ではないかと考えられる。そこで、西武グループと連携したふるさと納税の取組を検討していく考えはあるか、見解を伺う。

A 西武グループに御協力をいただいたふるさと納税は、西武園ゆうえんちや狭山スキー場のチケット、中国割烹旅館掬水亭の利用券などの体験型返礼品のほか、現在品切れ中ではあるが、ライオンズチームストア・フラッグス限定のライオンズ所沢抹茶フイナンシエがある。西武グループにはまだまだ多くの魅力あるコンテンツがあるので、今後も連携を深め、多くの方に選ばれる返礼品の開発に取り組んでいく。

平和に対する市長の決意は



産党 議員 市議 団員 共 市 澄 子 日本 所 沢 小 林

Q 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義は憲法の根幹になっており、戦争という大変な犠牲の上に生まれた憲法の三原則になっているのは大変意義深いことだと思う。憲法第9条も戦争の放棄、戦力の不保持を規定して、国際紛争を解決する手段としての武力行使を禁止している。今、世界的にもそして日本国内でも大変な岐路に立たされていると思う。日本国憲法に基づいていけば、戦争はしてはならないという

ことだが、改めて市長の平和への決意を伺う。

A 自衛隊派遣など外交的対応に関しては、本来国の専管事項として、安全保障としての大きな枠組みの中で慎重に判断されるべきものと考えられる。市民の安全な生活が守られるよう市としての責務を全うするとともに、特に次世代を担う若い方々に対して、平和の尊さをしっかりと継承していく取組を着実に進めてまいりたいと考えている。

市内全域で生ごみ資源化の取組を



産党 議員 市議 団員 共 市 づ み 日本 所 沢 矢 作

Q 市内では生ごみの資源化モデル事業が行われているが、年々回収される生ごみ量の減少が課題となっている。狭山市でも同様の事業が行われ、市内全域で取り組まれている。専用バケツの購入に補助金を出し、自己負担は1,700円とし、週一回の回収で年間100tの実績がある。生ごみの資源化を狭山市のように市内全域で取り組めば、さらなる資源化が進むと考えるが、今後の進め方について伺いたい。

A 生ごみ資源化の取組は、参加世帯が生ごみ専用バケツを購入し、週一回の指定回収日に集積所に出す方法で実施されており、令和7年4月時点で約920世帯が参加され回収量は令和6年度実績で100tと聞いている。本市事業でも参加者が拡大することによる生ごみの減量と資源化は期待できるが、委託業者の処理能力や費用等の問題があることから、本市での効果的な方策については、引き続き研究してまいりたい。

妊婦に対して金銭支給だけでなく現物支給を



維新の 会 議員 所 属 無 党 員 新 野 俊 郎 自由 民主 党 参 政 齊 藤 か おり

Q 元氣な赤ちゃんを安心して産める環境を整えることは重要である。特に妊娠期の食は、母体の健康と胎児の成長に直結することから、金銭ではなく、栄養を直接届ける仕組みをつくるのが母子の健康を確実に守る方法と考えられるため、そのような支援があってもよいのではないかと。そこで、母子手帳交付後の妊婦に対し、金銭給付だけではなく、一定割合を市の現物支給などに充てる制度設計を検討する考えがあるか見解を伺う。

A 国の事業では、産前産後期間の経済的負担の軽減を目的に、妊娠届出時に5万円、胎児数に応じて5万円を支給している。この給付金は、経済的負担の軽減が目的であることから、一部クーポン等によることは検討していない。妊婦の栄養に関する支援は、給付金とは別に、妊娠届出の際に、妊娠初期の女性に必要な栄養素である葉酸サプリメントを配付し、葉酸摂取の必要性を説明するとともに、妊娠中の食生活に関する助言を行っている。

宅地擁壁の安全対策を総合的に検討すべきでは



が け 泰 男 市 議 団 員 共 市 野 崎 荻

Q 宅地擁壁の老朽化対策は、盛土規制法の施行や豪雨・地震災害の増加を背景に、自治体の政策課題として注目されつつある。東京都調布市では擁壁・がけマツプを作成して危険箇所の可視化を行い、東京都世田谷区では宅地防災の専門家の派遣や相談会などを実施している。そこで、本市でも擁壁の実態調査、危険箇所の把握、専門家の相談制度、改修費の支援など、宅地擁壁の安全対策を総合的に検討すべきと考えられるが、見解を伺う。

A 宅地擁壁の維持保全は、建築基準法や民法でも所有者などが適正に管理しなければならぬ旨の規定があるため、所有者などに実施していただく必要があるものと認識している。また、宅地擁壁の維持保全を行う際に必要となる技術的な助言を行うとともに、国の予防保全マニュアルなどの情報は、ホームページを通じて周知を図っていく。

無料化施策・無償化施策の 実施は慎重に



さきか 島田 一隆

Q 市長が掲げる無料化施策・無償化施策は、一度始めるとなかなか途中でやめられない、いわゆる恒久的なものが多い。今から着手しないといけないインフラ施設の更新なども控えているので、そこまで慌ててやらなくてもよいのではないかと印象があるが、市長の見解を伺う。

A 事業の実施に当たっては、市長就任以前から計画されていた各種の既存計画、例えば、市民医療センターの再整備などに加え、社会情勢の

学校教育で手話への 理解促進を



自民 齋藤 由紀
誠 齋藤 由紀

Q 手話言語条例を契機として、市民の理解促進や学校教育で手話への理解を広げていくことは重要であると考えます。そこで、今後学校教育の中で手話や聴覚障がいのある方への理解を深める取組についてどのように考えているのか、見解を伺う。

A 聴覚障害を含む障害への理解を深める学校での取組は、これまでも、小・中学校の全教育活動の中で人

西富小学校区に公設民営の 児童クラブの開設検討を



自民 至誠 健一
クラブ 大石

Q 本市では、こどもを中心としたまちづくりを掲げている。そのため、こどもの居場所である児童クラブが確実に利用でき、さらに、「所沢市で子育てがしたい」と思われるようにすべきだと思う。所沢市児童クラブにしとみ遊学舎の開設に関する住民説明会が2回開催されたが、住民には大いに不満が残る結果となっている。西富小学校区は市街化調整区域内であり、民設民営は課題が多いと感じた

A 放課後児童クラブの整備を検討する際は、まず、小学校施設の活用を検討し、次に既存施設の定員増、それでも難しい場合は民設民営児童クラブなどを検討することとしている。今後、保留児童対策を進めるに当たり、状況を確認しながら、可能な場合には公設民営の児童クラブの整備も検討していく。

ペットの同行避難や 同伴避難への対策は



維新 自由民主党 佐野 允彦
参政 無所属の会

Q 一般の避難所では、動物が苦手な方やアレルギーの方などに配慮し、人とペットの生活空間を分けることが原則となっている。東京都墨田区では区内にある動物専門学校「日本動物21」と協定を結び、災害時にはペット同伴避難専用の避難所としての機能を保持している。ペットの同行避難や同伴避難について、本市ではどのような対策を想定しているのか。

A 墨田区の取組は承知しているが、国や県のガイドライン、本市の状況から、ペットと

A.

議案の最終決定となる採決は本会議で行いますが、議案や請願・陳情についてはその数も多く、内容が様々な分野に渡り、複雑にもなるため、この審査を行うには、全員で行うよりもいくつかの部門に分かれて詳しく審査したほうが効果的です。そこで、部門ごとに委員会を設けています。

- 常時設置
 - 常任委員会
 - 総務
 - 経済
 - 健康福祉
 - 市民文教
 - 建設環境
 - 予算
 - 議会運営委員会
 - 必要に応じて設置
 - 特別委員会
- 委員会室 →



Q.

「委員会」とは？

予算常任委員会で一般会計予算、病院事業会計予算が「否決すべきもの」とされたのだ。そもそも、委員会と本会議は何が違うのだ？



ギカイ レポート

健康福祉常任委員会



《視察概要》

視 察

1月20日 静岡市（静岡県）  高齢者の終活支援



委員長のひとつこと

高齢者の終活支援として身元保証や死後事務、日常生活支援等がありますが、行政として終活支援担当部署を新設し、しっかりと位置づけをしたことや、終活支援優良事業者の認証をすること、各区役所に相談窓口を設置したことは大事なポイントであると認識し、大変参考になりました。

建設環境常任委員会



《視察概要》

視 察

1月30日 深谷市（埼玉県）  自動運転バス実証実験
コミュニティバス「くるリン」デマンドバス



委員長のひとつこと

自動運転バスが道路や人、他の車両など周りの状況をどう判断し自動運転を行っているのかの説明を受けるとともに、細かく質疑をすることができ参考になりました。

また国の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金^②」の活用状況も知ることができ、今後の市の地域公共交通にとって大変有意義な視察になりました。

② 生活の足となる地域内バス・デマンド交通に対し、国が運賃収入の不足分を支援し、公共交通ネットワークの維持を図る補助金

総務経済常任委員会



《視察概要》

視 察

2月4日 左近山団地 公民連携、官学連携
洋光台北団地・中央団地 (神奈川県 横浜市)  リノベーションまちづくり、まちづくり会社



委員長のひとつこと

地域へ強い愛着を持つ方々が住んでいて、そこからまちづくりのエネルギーが生まれていることが実感できました。多くの方々が団地を生活の場所、憩いの場所、活躍の場所として活用していると感じ、新所沢、小手指、椿峰等の団地だけではなく、旧庁舎・文化会館跡地の活用（中心市街地）にも参考になる視察となりました。



市民文教常任委員会

3/13 所管事務調査事項 学校教育について



《会議録》



先生たちの負担軽減を考えると、顧問の先生がその場になくても指導ができる部活動指導員が多くなったほうがよいと思うが、どのような基準で決めるのか。



教職員として、かつて部活動で教えた経験や、外部指導員の経験があるとか、あとは校長が面談して、一定の知識や技能があって「この方なら大丈夫」と認めた方を基本的には認めている。



不登校の生徒には、先生が連絡を取ったり、家庭訪問をしたりといろいろやっていると思うが、支援体制はどうなっているのか。



学校教育課の中にある健やか輝き支援室が、主に学校のサポートをしている。不登校については、月に1回、各学校から報告をもらい「これは心配だな」「サポートが必要だな」ということに関して直接学校とやり取りをして、助言をしている。



議会運営委員会

2/7 政策討論会 所沢市議会は年中やることになったの？ ～通年会期制について～



《当日の動画》

令和7年5月より通年会期制に移行し、その振り返りを行うため、議会運営委員により政策討論会を開催しました。

第1部

基調講演
通年会期制
について

地方自治法改正による通年会期制の説明に始まり「通年会期制＝ずっと議会をやっているのか？」を解説いただきました。



法政大学法学部政治学科
教授 廣瀬 克哉 氏



開会のあいさつ

委員長
大館 隆行



司会

副委員長
大久保 竜一

第2部

議員間
討論



長谷川 礼奈 青木 利幸 小林 澄子 入沢 豊 末吉 美帆子

第2部前半は、通年会期制導入に関する振り返りを行いました。導入以前より市民等から会期日数の増加、それに伴う業務や支出増など懸念されていましたが、導入前後の会期日数データや取組の感想を踏まえ、現状懸念される事態にはないことを確認しました。



神戸 鉄郎 花岡 健太 植竹 成年 大石 健一 中 毅志

第2部後半は、廣瀬教授をファシリテーターとして「次年度以降に向け、通年会期制を定着させるために整理・見直しすべき点は？」というテーマで意見を述べ、活発な討論が行われました。

INTERVIEW No.42



マサカズ（左） ルキア（右）

マルザ

- ♠ 所沢中央高校出身
- ♥ バスケ部で出会い、お互いマジックをやっていたことから意気投合
- ♠ 高校卒業後にマジックデュオ「マルザ」を結成
- ♥ 独自のスタイルと驚異的な技術で観客を魅了し、SNSの総フォロワー数は40万人、動画再生回数は6億回を突破している。

マジックを始めたきっかけは

中学3年生のときに、簡単なマジックの種明かし動画があったのをたまたま見つけて、友達にやってみたらすごく驚いてくれたのが面白いと思い、その気持ちがあんどん大きくなって今の仕事につながっています。

続々と創出されるマジックに思うことは

新しいマジックの技術や仕掛けは常に進化していますが、人々が「面白い」と感じ、長く愛される定番のマジックはあまり変わりません。それを誰が、どうやるかが見せ所だと思います。

市内でマジックを披露したことがある場所は

小学校で何校か披露しています。また、東所沢マルシェ広場や、旧新所沢パルクでもやらせてもらいました。他にも、企業の方に声をかけていただいて、市内の飲食店で開催される忘年会等でマジックを披露することもあります。

4月にはミューズのマーキーホールでもショーを行いました。小学生までは無料で、ステージ終了後はワークショップを開催し、多くの方々にマジックの魅力を伝えられたと思います。

マジシャンを目指す人へアドバイス

コロナ禍のとき、マジックとかエンターテイメントは食事や衣服とは違い、絶対に必要なものではなかったため、マジックをやる意味をすごく考えました。

僕たちがマジックを届けることで、こどもたちが家に帰ってからもマジックの面白さをお父さんやお母さんに話したくなる。そんな風に、マジックが、家族の会話が弾みきっかけになれば、これほど嬉しいことはありません。どうしてマジックをやるのか、自分の考えをしっかり持つことが大切だと思います。

今後の目標は

今年SNSのフォロワー数100万人を目指して頑張りたいと思っています。そしてマジシャンと言えば「マルザ」だと思ってもらい、マジシャンという職業自体が今よりもっと憧れの存在になり、カッコいい、なりたいと思えるきっかけになればいいと思っています。



議員たちの…

春

新年度がスタートして一か月、諸団体の総会も一区切りです。

花粉症も去り、議員16年目に入今、健康第一です。（松本）

桜、ハナミズキを満喫した時間が過ぎ、これからは、昆虫（アゲハ蝶など）が元気な姿を見せる、さらに楽しみな季節を迎えます。（谷口）

市民の何気ない一言が背中を押し、新たな決意とともに希望の芽を育てていく季節です。（福原）

広聴広報委員会

- ◎石本 亮三 長谷川 礼奈
 - 山口 浩美 松本 明信
 - 齊藤かおり 谷口 雅典
 - 神戸 鉄郎 福原 浩昭
 - 中井めぐみ 青木 利幸
 - 矢作いづみ 秋田 孝
- ◎…委員長 ○…副委員長

所沢市議会

検索



次の定例会議は6月1日（月曜）から開催予定です。

ところざわ市議会だよりは2月、5月、8月、11月の15日に発行。戸別配布でお届けしています。配布のお問い合わせは、所沢市シルバー人材センター ☎2928-8695 FAX2924-0630 まで。